

フレンズ20周年を迎えて

やってみたい事を一つ一つ実現

文化の家フレンズ事務局長 山口節子



30年余り前、県立芸術大
学がありながら長久手は
文化果てる地といわれてい
ました。年に1、2回青少年
公園で、公演が企画されて
いましたが、「町民へのサー
ビスは平等に」の理念の下参
加者は抽選で決められまし
た。

求めて参加する人だけで
なく「暇つぶしに参加」とい

フレンズのなりたちと今、そしてこれから

う人も多く、あまりのおしゃ
べりに指揮者が演奏を中止
したとかしないとか…。

それから10年。『ザニュー
スパーパー』に「建設費80億
円、なんとという無駄遣い」と
揶揄されながらも「長久手
町文化の家」が完成しまし
た。

建設に先立って、『文化サロ
ン企画懇話会』メンバーの募
集がありました。施設に関
しての要望を出すだけでなく『文化の家』が建設される
事を周知するための『かわ
ら版』作りや、図書館のAVル
ームで、ミニコンサート、人形
劇、落語などの企画運営を
始めました。

平成10年7月文化の家は
開館しました。8月、フレンズ
会員全員に向けてボランティア

アスタフの募集がありまし
た。企画懇話会からのメンバ
ーを含め15人ほどの参加で
した。最初の顔合わせの際、
当時の事務局長から「文化の
家のサポートをお願いしま
す」と「フレンズ規約」と「フ
レンズ会員の会費」を託されま
した。

それから20年。公演時の
接遇・接遇技術の研修。公演
の企画運営。会員の親睦を
図る機関紙の作成、研修旅
行などの企画実施。そして昨
年から新たに「うたごえフ
レンズ」を始めました。やっ
てみたい事を一つ一つメン
バーで話し合い実現してき
ました。

フレンズは、これからどん
な進化を続けていくでしょ
う!! 楽しみです。

公演での受付の様子

フレンズ 研修ツアー

桑名で発見！文化財 ～鹿鳴館設計者による洋和館～



洋館と和館がつながった住居

5月11日、青空の美し
い絶好の天気にも恵まれ
て、今年度のフレンズ研修
ツアーが行われました。
文化の家の広中館長、管
理係市野さんを含む32
名が参加。

目指すは三重県桑名
市にある六華苑、それに
連なる諸戸氏庭園。山林
王と呼ばれ、明治、大正
期に莫大な財を築いた
初代諸戸清六、続く二代
目の、住まいと事業の拠
点となる広大な敷地で
す。

国の重要文化財でも
ある洋和館は、鹿鳴館も
手掛けたジョサイア・コン
ドル設計で、地方に唯一

残る作品としても注目
されています。

隣接する昼食会場の
入口には、折りしも見ご
ろのバラが咲き誇ってお
り、参加の皆さんに一層
喜んでいただけました。

午前の洋和館、午後の
庭園見学それぞれで、ボ
ランティアガイドの皆さ
んが同行。鑑賞の注目ポ
イントや、私財を投じて
市のために水道施設を
設置した諸戸氏の人柄
なども説明していただ
き、より興味深く見学
することができました。

(研修部 野村由季)



琵琶湖を模した池